

事前伺い

[平成21年度設置]

計画の区分：研究科の専攻設置
注1

室蘭工業大学大学院 工学研究科 建築社会基盤系専攻（博士前期課程）
機械創造工学系専攻（博士前期課程）
応用理化学系専攻（博士前期課程）
情報電子工学系専攻（博士前期課程）
建設環境工学専攻（博士後期課程）
生産情報システム工学専攻（博士後期課程）
航空宇宙システム工学専攻（博士後期課程）
物質工学専攻（博士後期課程）
創成機能工学専攻（博士後期課程）

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 室蘭工業大学
平成22年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	企画・評価室
職名・氏名	キカク ヒョウカガツチョウ サトウ ミチユキ 企画・評価室長 佐藤 道之
電話番号	0143-46-5019
（夜間）	0143-46-5019
F A X	0143-46-5032
e-mail	kikaku@mmm.muroran-it.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載いただき、
その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

目 次

1	調査対象大学院等の概要等	1
(1)	設置者	1
(2)	大学院名	1
(3)	大学院の位置	1
(4)	調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等	2
	建築社会基盤系専攻(博士前期課程)	2
	機械創造工学系専攻(博士前期課程)	4
	応用理化学系専攻(博士前期課程)	6
	情報電子工学系専攻(博士前期課程)	8
	建設環境工学専攻(博士後期課程)	10
	生産情報システム工学専攻(博士後期課程)	12
	航空宇宙システム工学専攻(博士後期課程)	14
	物質工学専攻(博士後期課程)	16
	創成機能工学専攻(博士後期課程)	18
2	授業科目の概要	20
	建築社会基盤系専攻(博士前期課程)	20
	機械創造工学系専攻(博士前期課程)	24
	応用理化学系専攻(博士前期課程)	29
	情報電子工学系専攻(博士前期課程)	33
	建設環境工学専攻(博士後期課程)	38
	生産情報システム工学専攻(博士後期課程)	40
	航空宇宙システム工学専攻(博士後期課程)	42
	物質工学専攻(博士後期課程)	44
	創成機能工学専攻(博士後期課程)	46
3	既設大学等の状況	48
4	教員組織の状況	49
	建築社会基盤系専攻(博士前期課程)	49
	機械創造工学系専攻(博士前期課程)	50
	応用理化学系専攻(博士前期課程)	51
	情報電子工学系専攻(博士前期課程)	52
	建設環境工学専攻(博士後期課程)	53
	生産情報システム工学専攻(博士後期課程)	54
	航空宇宙システム工学専攻(博士後期課程)	55

物質工学専攻（博士後期課程）	56
創成機能工学専攻（博士後期課程）	57
5 その他全般的事項	58
建築社会基盤系専攻（博士前期課程）	58
機械創造工学系専攻（博士前期課程）	59
応用理化学系専攻（博士前期課程）	60
情報電子工学系専攻（博士前期課程）	61
建設環境工学専攻（博士後期課程）	62
生産情報システム工学専攻（博士後期課程）	63
航空宇宙システム工学専攻（博士後期課程）	64
物質工学専攻（博士後期課程）	65
創成機能工学専攻（博士後期課程）	66

1 調査対象大学院等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 室蘭工業大学

(2) 大学院名

室蘭工業大学大学院

(3) 大学院の位置

〒050-8585
北海道室蘭市水元町27番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 建築社会基盤系専攻 (博士前期課程) 修士(工学)	年 2	人 27	人 54	基礎となる学部名等 工学部 建築社会基盤系学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度		平均入学定員 超過率	備 考
	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	(若干名) 27	(若干名) 27	1.36	平成21年度入学者については, 改組に伴い既設専攻で学生募集を実施し, 入学時に改組後の専攻に移行したため, 入学定員超過率のみ計上している。
志願者数	()	(-)		
受験者数	()	(-)		
合格者数	()	(-)		
B 入学者数	(-) 38	(-) 36		
入学定員超過率 B/A	(-) 1.40	(-) 1.33		

- (注) ・ () 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		備 考
	平成21年度	平成22年度	
1年次	[3] 41	[-] 36	
2年次	[]	[3] 41	
計	[3] 41	[3] 77	

- (注) ・ [] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - ④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度	計 0 [0]	計 41 [3]	[0 %] 0 %
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 41人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 0 [0]	計 77 [3]	[0 %] 0 %
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 41人	
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 36人	
	(主な退学理由)		

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・ 就学意欲の低下 ・ 学力不足 ・ 他の教育機関への入学・転学 ・ 海外留学
 - ・ 就職 ・ 学生個人の心身に関する事情 ・ 家庭の事情 ・ 除籍 ・ その他

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 機械創造工学系専攻 (博士前期課程) 修士(工学)	2年	43人	86人	基礎となる学部名等 工学部 機械航空創造系学科

- (注) ・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平均入学定員 超過率	備 考
	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	(若干名) 43人	(若干名) 43人	1.46倍	平成21年度入学者については, 改組に伴い既設専攻で学生募集を実施し, 入学時に改組後の専攻に移行したため, 入学者数のみ計上している。
志願者数	()	(-)		
受験者数	()	(-) 88		
合格者数	()	(-) 80		
B 入学者数	(1) 50	(-) 76		
入学定員超過率 B/A	() 1.16	(-) 1.76		

- (注) ・()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度		備 考
	平成21年度	平成22年度	
1年次	[2] 52	[1] 77	
2年次	[]	[2] 52	
計	[2] 52	[3] 129	

- (注) ・[]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - ④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度	計 0 [0]	計 52 [2]	[0 %] 0 %
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 52人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 0 [0]	計 129 [3]	[0 %] 0 %
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 52人	
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 77人	
	(主な退学理由)		

(注)・ []内には、留學生の状況について内数で記入してください。

- ・留學生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下
 - ・学力不足
 - ・他の教育機関への入学・転学
 - ・海外留学
 - ・就職
 - ・学生個人の心身に関する事情
 - ・家庭の事情
 - ・除籍
 - ・その他

(4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 応用理化学系専攻 (博士前期課程) 修士(工学)	2年	45人	90人	基礎となる学部名等 工学部 応用理化学系学科

- (注) ・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平均入学定員 超過率	備 考
	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	(若干名) 45人	(若干名) 45人	1.24倍	平成21年度入学者については, 改組に伴い既設専攻で学生募集を実施し, 入学時に改組後の専攻に移行したため, 入学者数のみ計上している。
志願者数	()	(-)		
受験者数	()	(-)		
合格者数	()	(-)		
B 入学者数	(-) 54	(-) 58		
入学定員超過率 B/A	(-) 1.20	(-) 1.28		

- (注) ・()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度		備 考
	平成21年度	平成22年度	
1年次	[1] 55	[1] 59	
2年次	[]	[1] 52	
計	[1] 55	[2] 111	

- (注) ・[]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - ④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度	計 3 [0]	計 55 [1]	[0 %] 5.5 %
	うち平成21年度入学者 3人	うち平成21年度 55人	
	(主な退学理由) 経済的理由 (2人), 就職 (1人)		
平成22年度	計 0 [0]	計 114 [2]	[0 %] 0 %
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 55人	
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 59人	
	(主な退学理由)		

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下
 - ・学力不足
 - ・他の教育機関への入学・転学
 - ・海外留学
 - ・就職
 - ・学生個人の心身に関する事情
 - ・家庭の事情
 - ・除籍
 - ・その他

(4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 情報電子工学系専攻 (博士前期課程) 修士(工学)	2年	57人	114人	基礎となる学部名等 工学部 情報電子工学系学科

- (注) ・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度 平成21年度	平成22年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	(若干名) 57人	(若干名) 57人	1.46倍	平成21年度入学者については、改組に伴い既設専攻で学生募集を実施し、入学時に改組後の専攻に移行したため、入学者数のみ計上している。
志願者数	()	()		
受験者数	()	()		
合格者数	()	()		
B 入学者数	() 70	() 97		
入学定員超過率 B/A	() 1.22	() 1.70		

- (注) ・()内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・「社会人」については、貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入し、平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・「平成22年度」には、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・「平成20~21年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度 平成21年度	平成22年度	備 考
1年次	[4] 73	[4] 100	
2年次	[]	[4] 73	
計	[4] 73	[8] 173	

- (注) ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) -④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度	計 0 [0]	計 73 [4]	[0 %] 0 %
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 73人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 0 [0]	計 173 [8]	[0 %] 0 %
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 100人	
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 73人	
	(主な退学理由)		

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・ 就学意欲の低下 ・ 学力不足 ・ 他の教育機関への入学・転学 ・ 海外留学
 - ・ 就職 ・ 学生個人の心身に関する事情 ・ 家庭の事情 ・ 除籍 ・ その他

(4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 建設環境工学専攻 (博士後期課程) 博士(工学)	3年	5人	15人	基礎となる学部名等 工学部 建築社会基盤系学科

(注) ・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度			平均入学定員 超過率	備 考
	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
A 入学定員	(若干名) 5人	(若干名) 5人	()人	0.60 倍	・10月入学者を含む。 ・平成21年度4月入学者については, 改組に伴い既設専攻で学生募集を実施し, 入学時に改組後の専攻に移行したため, 入学者数のみ計上している。
志願者数	(3) 3	(-) 0	()		
受験者数	(3) 3	(-) 0	()		
合格者数	(3) 3	(-) 0	()		
B 入学者数	(6) 6	(-) 0	()		
入学定員超過率 B/A	() 1.20	(-) 0.00	()		

(注) ・()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度			備 考
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
1年次	[-] 3	[1] 4	[]	
2年次	[]	[-] 3	[]	
3年次	[]	[]	[]	
計	[-] 3	[1] 7	[]	

(注) ・[]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - ④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度	計 0 [0]	計 6 [0]	[0 %]
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 6人	0 %
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 0 [0]	計 7 [1]	[0 %]
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 6人	0 %
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 1人	
	(主な退学理由)		
平成23年度	計 []	計 []	[%]
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	%
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	%
	(主な退学理由)		

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 生産情報システム工学専攻 (博士後期課程) 博士(工学)	3年	6人	18人	基礎となる学部名等 工学部 機械航空創造系学科 情報電子工学系学科

(注) ・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度			平均入学定員 超過率	備 考
	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
A 入学定員	(若干名) 6人	(若干名) 6人	()人	0.49倍	・10月入学者を含む。 ・平成21年度4月入学者については, 改組に伴い既設専攻で学生募集を実施し, 入学時に改組後の専攻に移行したため, 入学者数のみ計上している。
志願者数	(2) 2	(-) 2	()		
受験者数	(2) 2	(-) 2	()		
合格者数	(2) 2	(-) 2	()		
B 入学者数	(3) 4	(-) 2	()		
入学定員超過率 B/A	() 0.66	(-) 0.33	()		

(注) ・()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度			備 考
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
1年次	[1] 3	[3] 7	[]	平成22年度の2年次には, 再入学者1人を含む。
2年次	[]	[1] 4	[]	
3年次	[]	[]	[]	
計	[1] 3	[4] 11	[]	

(注) ・[]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - ④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度	計 0 [0]	計 6 [2]	[0 %] 0 %
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 6人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 0 [0]	計 11 [4]	[0 %] 0 %
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 6人	
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 5人	
	(主な退学理由)		
平成23年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 航空宇宙システム工学専攻 (博士後期課程) 博士(工学)	3年	4人	12人	基礎となる学部名等 工学部 機械航空創造系学科

(注) ・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度			平均入学定員 超過率	備 考
	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
A 入学定員	(若干名) 4人	(若干名) 4人	()人	0.12倍	・10月入学者を含む。 ・平成21年度4月入学者については, 改組に伴い既設専攻で学生募集を実施し, 入学時に改組後の専攻に移行したため, 入学者数のみ計上している。
志願者数	(-) 0	(-) 0	()		
受験者数	(-) 0	(-) 0	()		
合格者数	(-) 0	(-) 0	()		
B 入学者数	(-) 1	(-) 0	()		
入学定員超過率 B/A	(-) 0.25	(-) 0.00	()		

(注) ・()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度			備 考
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
1年次	[1] 2	[-] 0	[]	
2年次	[]	[1] 2	[]	
3年次	[]	[]	[]	
計	[1] 2	[1] 2	[]	

(注) ・[]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - ④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度	計 0 [0]	計 2 [1]	[0 %] 0 %
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 2人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 0 [0]	計 2 [1]	[0 %] 0 %
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 2人	
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 0人	
	(主な退学理由)		
平成23年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 物質工学専攻 (博士後期課程) 博士(工学)	3年	5人	15人	基礎となる学部名等 工学部 応用理化学系学科

- (注) ・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度			平均入学定員 超過率	備 考
	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
A 入学定員	(若干名) 5人	(若干名) 5人	()人	0.40 倍	・10月入学者を含む。 ・平成21年度4月入学者については, 改組に伴い既設専攻で学生募集を実施し, 入学時に改組後の専攻に移行したため, 入学者数のみ計上している。
志願者数	(1) 1	(1) 2	()		
受験者数	(1) 1	(1) 2	()		
合格者数	(1) 1	(1) 2	()		
B 入学者数	(2) 2	(1) 2	()		
入学定員超過率 B/A	() 0.40	() 0.40	()		

- (注) ・()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度			備 考
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
1年次	[-] 1	[3] 6	[]	
2年次	[]	[-] 1	[]	
3年次	[]	[]	[]	
計	[-] 1	[3] 7	[]	

- (注) ・[]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - ④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度	計 0 [0]	計 4 [2]	[0 %] 0 %
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 4人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 0 [0]	計 7 [3]	[0 %] 0 %
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 4人	
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 3人	
	(主な退学理由)		
平成23年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 創成機能工学専攻 (博士後期課程) 博士(工学)	3年	4人	12人	基礎となる学部名等 工学部 機械航空創造系学科 応用理化学系学科 情報電子工学系学科

(注)・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度			平均入学定員 超過率	備 考
	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
A 入学定員	(若干名) 4人	(若干名) 4人	()人	0.75倍	・10月入学者を含む。 ・平成21年度4月入学者については, 改組に伴い既設専攻で学生募集を実施し, 入学時に改組後の専攻に移行したため, 入学者数のみ計上している。
志願者数	(-) 0	(-) 3	()		
受験者数	(-) 0	(-) 3	()		
合格者数	(-) 0	(-) 3	()		
B 入学者数	(1) 3	(-) 3	()		
入学定員超過率 B/A	() 0.75	(-) 0.75	()		

(注)・()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
・「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
・「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
・「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
・「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度			備 考
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
1年次	[-] 3	[1] 4	[]	
2年次	[]	[-] 3	[]	
3年次	[]	[]	[]	
計	[-] 3	[1] 7	[]	

(注)・[]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
・留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - ④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度	計 0 [0]	計 4 [1]	[0 %] 0 %
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 4人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 0 [0]	計 7 [1]	[0 %] 0 %
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 4人	
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 3人	
	(主な退学理由)		
平成23年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学研究科 建築社会基盤系専攻（博士前期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コース科目 (土木コース)	基礎科目 構造力学特論 交通運輸工学 応用水理学特論 土質力学特論	1		2		1		0 +			教員の配置換えによる変更 (21)	
		1		2				1 0 +				
		1		2		1						教員の配置換えによる変更 (22)
		1		2		1						
	応用科目	弾塑性学	1		2				1			教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (21)
		コンクリート工学特論	1		2			1 0 +	1			
		鋼構造学特論	1		2					1		
		水防災工学特論	1		2			1				
		環境衛生工学特論	1		2							
		地盤防災工学	1		2							
		社会基盤管理学	1		2							
		地震・火山防災工学	1		2							
	コース科目 (建築学コース)	基礎科目 建築材料学特論	1		2		1 0 +	0 +				教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
			1		2		1					
1				2				1				
1				2				1				
応用科目		構造解析特論	1		2		1	0 +			教育効果を高めるため科目新設 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)	
		建築保全工学	1		1		1					
		基礎構造学特論	1		2		1		1			
		建築計画学特論	1		2					1		
		寒地建築計画学	1		2		1					
		都市計画特論	1		2		1					
建築インターンシップ	1~2		4						建築士の資格認定対応のため 科目新設 (21)			
専攻共通科目	1		2		8 6 5	2 4 5	2 +	2 5		教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)		

専攻共通科目	建築社会基盤系特別ゼミナールⅠ	1	4			8 6 5	2 4 5	5	2 1 5	教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	建築社会基盤系特別ゼミナールⅡ	2	2			8 6 5	2 4 5	5	2 1 5	教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	建築社会基盤系特別研究Ⅰ	1	2			8 6 5	2 4 5	5	2 1 5	教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	建築社会基盤系特別研究Ⅱ	2	4			8 6 5	2 4 5	5	2 1 5	教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)

博士前期課程共通科目

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
国際コミュニケーション文化	英語プレゼンテーション	1		2							
	海外語学研修M	1~2		2							
	異文化理解特論 a	1		2							
	異文化理解特論 b	1		2							
	異文化理解特論 c	1		2							
	異文化理解特論 d	1		2							
	異文化理解特論 e	1		2							
	異文化理解特論 f	1		2							
	異文化コミュニケーション	1		2							
	国際関係論特論	1		2							
	海外研修M	1		1							
健康	スポーツ生理学特論	1		2							
	健康体力特論	1		2							
	メンタルヘルス特論	1		2							
	医療科学特論	1		2							
	生命情報学特論	1		2							教育効果を高めるため科目新設 (22)
	医用機械構成学特論	1		2							教育効果を高めるため科目新設 (22)
計測	流体関連振動論	1		2							
	環境放射線計測学	2		2							
	マルチメディア特論	1		2							
経営	産業連携論	1		2							
	ベンチャービジネス特論	1		2							
	経営科学	1		2							
学外実習	短期インターンシップM	1~2		1							
	長期インターンシップM	1~2		2							

日 本 事 情	異文化交流MA	1		2						科目区分「日本事情」は、外国人留学生のみ履修できる。
	異文化交流MB	1		2						
	日本語MA	1		1						
	日本語MB	1		1						
	日本語MC	2		1						
	日本語MD	2		1						

- (注) ・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載いただき、設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 4	科目 51	科目 0	科目 55	科目 4	科目 55	科目 0	科目 59	
				[0]	[4]	[0]	[4]	

- (注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
なし						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
なし						

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<工学研究科 機械創造工学系専攻（博士前期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目群	熱力学特論	1		1		2						
	流体力学特論	1		1		1	1					教員の配置換えによる変更 (22)
	材料力学特論	1		1		1	1					
	機械力学特論	1		1		1		1				
	制御工学特論	1		1		1	1					
	機械システム設計学特論	1		1		1						
	材料工学特論	1		1		1	1		1			教育的配慮により教員を追加 (22)
計測工学特論	1		1		1	1						
領域科目群 （機械システム工学コース）	伝熱工学特論	1		1			1					
	熱工学特論	1		1		1						
	移動速度特論	1		1		1						
	流体機械特論	1		1			1					
	弾塑性学特論	1		1			1					
	機械要素特論	1		1		1						
	材料の劣化とその防止	1		1		1						
	衝撃工学特論	1		1		1						
	振動・騒音特論	1		1				1				
	精密加工学特論	1		1			1					
	ロバスト制御工学特論	1		1			1					
	光センシング特論	1		1		1						
	非線形制御工学特論	1		1		1						
	生産システム情報工学特論	1		1			1					
トライボロジー特論	1		1		1							
実践科目群	機械システム工学特別講義 A	1~2		1			1	0		0		教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	機械システム工学特別講義 B	1~2		1		0	1					教員の配置換えによる変更 (21)
	機械システム工学ゼミナール I	1	4			8	4	5	2	4	2	教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	機械システム工学ゼミナール II	2	2			8	4	5	2	4	2	教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)

コース科目 (機械システム工学コース)	実践科目群	機械システム工学特別研究Ⅰ	1	2			8 4	5	2 4	3 4 2	教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)	
		機械システム工学特別研究Ⅱ	2	4			8 4	5	2 4	3 4 2	教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)	
コース科目 (材料工学コース)	材料工学トラック	データ解析法	1		2			1				教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (21)
		材料物理化学特論	1		2		1	1			1	
		材料科学特論	1		2		2		0			
		材料創製学	1		2		2		4			
		材料加工プロセス学	1		2		1					
		格子欠陥学	1		2		1					
		材料界面制御学特論	2		2				1			
		固体相転移学	2		2				1			
		環境材料学	2		2		1					
		材料物性工学特別講義	2		2							
		材料工学ゼミナールⅠ	1	4			5		4 3		3	
		材料工学ゼミナールⅡ	2	2			5		4 3		3	
		材料工学特別実験Ⅰ	1	4			5		4 3		3	
材料工学特別実験Ⅱ	2	2			5		4 3		3			
ものづくり工学トラック	工業材料学特論	1	2			2					教員の配置換えによる変更 (22)	
	材料加工学特論	1		2				1			教育的配慮により教員を追加 (22) 教員の配置換えによる変更 (22)	
	融体加工学特論	1		2		1				1		
	材料強度評価学特論	1		2		1						
	環境材料学特論	1		2		1						
	CAD/CAE特論	1		2								
	ものづくり工学特別講義	1~2		2		1 2		0 4				

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 14	科目 70	科目 0	科目 84	科目 14 [0]	科目 72 [2]	科目 0 [0]	科目 86 [2]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
なし						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
なし						

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<工学研究科 応用理化学系専攻（博士前期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
コース科目（応用化学コース）	反応化学特論	1		2		1 1 0					教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	物理化学特論	1		2		1					
	化学結合特論	1		2		1					
	分子科学特論	1		2		1					
	環境化学特論	1		2		1					
	電気化学特論	1		2			1				
	化学工学特論	1		2		1					
	環境工学特論	1		2		1					
	拡散工学特論	1		2			1				
	分離工学特論	1		2			1				
	粉粒体工学特論	1		2		1 1 0					
応用計測特論	1		2			1					
コース科目（バイオシステムコース）	生物有機化学特論	1		2		1 1 0	0 1				教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	環境生物学特論	1		2		1					
	遺伝子工学特論	1		2		1					
	生体高分子学特論	1		2		1					
	生命科学特論	1		2			1				
	微生物工学特論	1		2			1				
	バイオ機器分析特論	1		2			1				
コース科目（応用物理コース）	物理数学特論	1		2		2					教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	基礎物性特論	1		2		2					
	結晶物性学	1		2		1					
	ソフトマター物理学	1		2		0 1	1				
	非線形光学	1		2			1				
	放射線物理学	1		1		1					
	生体機能科学	1		2		1					
	生物物性学	1		2			1				
	統計物理学	2		2				1			
	量子物性学	2		2		1					

専攻 共通科目	超伝導物理学	2		1		1					
	固体磁気共鳴学	2		1		1					
	固体物性学	2		2			1				
	電子物性学	2		2			1				
	応用理化学特別講義	1		2		16 17 20					
	応用理化学ゼミナールⅠ	1	3				12 13	1	7 9		教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	応用理化学ゼミナールⅡ	2	3			16 17 20	12 13	1	7 9		教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	応用理化学特別研究Ⅰ	1	2			16 17 20	12 13	1	7 9		教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	応用理化学特別研究Ⅱ	2	4			16 17 20	12 13	1	7 9		教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)

博士前期課程共通科目

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
国際 コミュニ ケーシ ョン	英語プレゼンテーション	1		2							
	海外語学研修M	1~2		2							
	異文化理解特論 a	1		2							
	異文化理解特論 b	1		2							
	異文化理解特論 c	1		2							
	異文化理解特論 d	1		2							
	異文化理解特論 e	1		2							
	異文化理解特論 f	1		2							
	異文化コミュニケーション	1		2							
国際関係論特論	1		2								
海外研修M	1		1								
健康	スポーツ生理学特論	1		2							
	健康体力特論	1		2							
	メンタルヘルス特論	1		2							
	医療科学特論	1		2							
	生命情報学特論	1		2							教育効果を高めるため科目新 設 (22)
医用機械構成学特論	1		2							教育効果を高めるため科目新 設 (22)	
計測	流体関連振動論	1		2							
	環境放射線計測学	2		2							
	マルチメディア特論	1		2							

経営	産業連携論	1		2						
	ベンチャービジネス特論	1		2						
	経営科学	1		2						
学外実習	短期インターンシップM	1~2		1						
	長期インターンシップM	1~2		2						
日本事情	異文化交流MA	1		2						科目区分「日本事情」は、外国人留学生のみ履修できる。
	異文化交流MB	1		2						
	日本語MA	1		1						
	日本語MB	1		1						
	日本語MC	2		1						
	日本語MD	2		1						

- (注) ・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
4	63	0	67	4	65	0	69	
				[0]	[2]	[0]	[2]	

- (注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
なし						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
なし						

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<工学研究科 情報電子工学系専攻（博士前期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コース科目 (電気電子工学コース)	電気エネルギー工学特論	1		2		1 2						教員の配置換えによる変更 (21)
	電子デバイス工学特論	1		2			2					
	電力工学特論	1		2		1		0				教員の配置換えによる変更 (22)
	プラズマエレクトロニクス特論	1		2		1		+				
	半導体工学特論	1		2		1						
	量子物性工学特論	1		2		1		0				教員の配置換えによる変更 (22)
	制御工学特論	1		2		1		+				
コース科目 (情報通信システムコース)	通信工学特論	1		2		1	1					教員の配置換えによる変更 (21)
	計測工学特論	1		2		2						
	情報伝送工学特論	1		2		1						
	光エレクトロニクス特論	1		2			1					
	応用計測特論	1		2			1		0			
	電磁気学特論	1		2					+			
	計算機工学特論	1		2			1					
コース科目 (情報システム学コース)	計算機システム特論	1		2			0 +		1			教員の配置換えによる変更 (22)
	計算機システム演習	1		2			0 +		1			
	情報ネットワーク特論	1		2		1	1					教員の配置換えによる変更 (22)
	情報ネットワーク演習	1		2		1	1					
	情報数理工学特論	1		2		1	2					
	情報数理工学演習	1		2		1	2					教員の配置換えによる変更 (22)
	生体生命情報学特論	1		2		0 +	1					
	生体生命情報学演習	1		2		0 +	1					教員の配置換えによる変更 (22)
	感性情報学特論	1		2		1 2						
感性情報学演習	1		2		1 2							

コース科目 (コンピュータ知能学コース)	センシングシステム特論	1		2		2 +	0 +			教員の配置換えによる変更 (22)	
	センシングシステム演習	1		2		2 +	0 +			教員の配置換えによる変更 (22)	
	知能情報工学特論	1		2		0 +		1		教員の配置換えによる変更 (22)	
	知能情報工学演習	1		2		0 +		1		教員の配置換えによる変更 (22)	
	認知情報処理特論	1		2		2					
	認知情報処理演習	1		2		2					
	ソフトコンピューティング特論	1		2		2					
	ソフトコンピューティング演習	1		2		2					
	知能システム学特論	1		2			2 +	0 +			教員の配置換えによる変更 (22)
知能システム学演習	1		2			2 +	0 +			教員の配置換えによる変更 (22)	
専攻共通科目	情報電子工学特別講義	1~2		1		19 16 19	11 15 16				
	情報電子工学特別演習 I	1	1			19 16 19	11 15 16	2 3	8 9		教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	情報電子工学特別演習 II	2	1			19 16 19	11 15 16	2 3	8 9		教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	情報電子工学ゼミナール I	1	4			19 16 19	11 15 16	2 3	8 9		教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	情報電子工学ゼミナール II	2	2			19 16 19	11 15 16	2 3	8 9		教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	情報電子工学特別研究 I	1	2			19 16 19	11 15 16	2 3	8 9		教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)

専攻共通科目	情報電子工学特別研究Ⅱ	2	4			19	11				教員の配置換えによる変更 (21)
						16	15	2	8		
						19	16	3	9		

博士前期課程共通科目

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
国際コミュニケーション	英語プレゼンテーション	1		2							
	海外語学研修M	1~2		2							
	異文化理解特論 a	1		2							
	異文化理解特論 b	1		2							
	異文化理解特論 c	1		2							
	異文化理解特論 d	1		2							
	異文化理解特論 e	1		2							
	異文化理解特論 f	1		2							
	異文化コミュニケーション	1		2							
	国際関係論特論	1		2							
	海外研修M	1		1							
健康	スポーツ生理学特論	1		2							
	健康体力特論	1		2							
	メンタルヘルス特論	1		2							
	医療科学特論	1		2							
	生命情報学特論	1		2							教育効果を高めるため科目新設 (22)
	医用機械構成学特論	1		2							教育効果を高めるため科目新設 (22)
計測	流体関連振動論	1		2							
	環境放射線計測学	2		2							
	マルチメディア特論	1		2							
経営	産業連携論	1		2							
	ベンチャービジネス特論	1		2							
	経営科学	1		2							
学外実習	短期インターンシップM	1~2		1							
	長期インターンシップM	1~2		2							
日本事情	異文化交流MA	1		2							
	異文化交流MB	1		2							
	日本語MA	1		1							
	日本語MB	1		1							
	日本語MC	2		1							
	日本語MD	2		1							科目区分「日本事情」は、外国人留学生のみ履修できる。

- (注) ・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 6	科目 64	科目 0	科目 70	科目 6 [0]	科目 66 [2]	科目 0 [0]	科目 72 [2]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	感性情報学特論	2	1	専門	選択	担当教員定年退職のため未開講。 平成22年度後期に開講する。
2	感性情報学演習	2	1	専門	選択	担当教員定年退職のため未開講。 平成22年度後期に開講する。
3	知能情報工学特論	2	1	専門	選択	担当教員定年退職のため未開講。 平成22年度後期に開講する。
4	知能情報工学演習	2	1	専門	選択	担当教員定年退職のため未開講。 平成22年度後期に開講する。

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
 なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
なし						

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当教員の定年退職後の後任適任者の採用が遅れたため，開講時期を遅らせたものである。今後は定年退職者等後任適任者の決定早期化に努めたい。学生への周知については，学生の履修への影響を最小限にとどめるため，早期に掲示等を行い事前の周知に努めた。

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.05}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<工学研究科 建設環境工学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	建設環境工学ゼミナールⅠ	1	2			14 12 11	3 5 4				教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	建設環境工学ゼミナールⅡ	2	2			14 12 11	3 5 4				教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	建設環境工学特別研究	1~3	1			14 12 11	3 5 4				教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	特別講演	1~3	1								

- (注) ・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・設置時の授業科目全て（兼任，兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載いただき，設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
4	0	0	4	4	0	0	4	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，[] 内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
なし						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
なし						

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<工学研究科 生産情報システム工学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	生産情報システム工学ゼミナールⅠ	1	2			20 19	12 14 12					教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	生産情報システム工学ゼミナールⅡ	2	2			20 19	12 14 12					教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	生産情報システム工学特別研究	1~3	1			20 19	12 14 12					教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	特別講演	1~3	1									

- (注) ・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・設置時の授業科目全て（兼任，兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載いただき，設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 4	科目 0	科目 0	科目 4	科目 4	科目 0	科目 0	科目 4	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，[] 内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
なし						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
なし						

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<工学研究科 航空宇宙システム工学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	航空宇宙システム工学ゼミナールⅠ	1	2			6 5	1 2 5					教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	航空宇宙システム工学ゼミナールⅡ	2	2			6 5	1 2 5					教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	航空宇宙システム工学特別研究	1~3	1			6 5	1 2 5					教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	特別講演	1~3	1									

- (注) ・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・設置時の授業科目全て（兼任，兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載いただき，設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
4	0	0	4	4	0	0	4	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，[] 内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
なし						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
なし						

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<工学研究科 物質工学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	物質工学ゼミナールⅠ	1	2			13 15	10 11 9					教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	物質工学ゼミナールⅡ	2	2			13 15	10 11 9					教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	物質工学特別研究	1~3	1			13 15	10 11 9					教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	特別講演	1~3	1									

- (注) ・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・設置時の授業科目全て（兼任，兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載いただき，設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 4	科目 0	科目 0	科目 4	科目 4	科目 0	科目 0	科目 4	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，[] 内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
なし						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
なし						

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

<工学研究科 創成機能工学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	創成機能工学ゼミナールⅠ	1	2			12 13	11 10					教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	創成機能工学ゼミナールⅡ	2	2			12 13	11 10					教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	創成機能工学特別研究	1~3	1			12 13	11 10					教員の配置換えによる変更 (21) 教員の配置換えによる変更 (22)
	特別講演	1~3	1									

- (注) ・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載いただき、設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 4	科目 0	科目 0	科目 4	科目 4	科目 0	科目 0	科目 4	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
なし						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
なし						

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称		室 蘭 工 業 大 学							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
工学部									
建設システム工学科		—		—					平成21年度より学生募集停止
機械システム工学科		—		—					平成21年度より学生募集停止
情報工学科		—		—					平成21年度より学生募集停止
電気電子工学科		—		—					平成21年度より学生募集停止
材料物性工学科		—		—					平成21年度より学生募集停止
応用化学科		—		—					平成21年度より学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が、既に設置している大学の学部、学部の学科について平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 (大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
 - ・ 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<工学研究科 建築社会基盤系専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
20	0	20	0	17	0	17	0	
(16)	(0)	(16)	(0)	[Δ3]	[0]	[Δ3]	[0]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 (記入例：1名減の場合：Δ1)

<工学研究科 機械創造工学系専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
34	0	34	0	31	0	31	0	
(29)	(0)	(29)	(0)	[Δ3]	[0]	[Δ3]	[0]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 (記入例：1名減の場合：Δ1)

<工学研究科 応用理化学系専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
43	0	43	0	39	0	39	0	
(39)	(0)	(39)	(0)	[Δ4]	[0]	[Δ4]	[0]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 (記入例：1名減の場合：Δ1)

<工学研究科 情報電子工学系専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
47	0	47	0	40	0	40	0	
(43)	(0)	(43)	(0)	[Δ7]	[0]	[Δ7]	[0]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 (記入例：1名減の場合：Δ1)

<工学研究科 建設環境工学専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
12	3	15	0	14	3	17	0	
(14)	(3)	(17)	(0)	[2]	[0]	[2]	[0]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 (記入例：1名減の場合：△1)

<工学研究科 生産情報システム工学専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
17	14	31	0	24	8	32	0	
(23)	(10)	(33)	(0)	[7]	[Δ6]	[1]	[0]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 (記入例：1名減の場合：Δ1)

<工学研究科 航空宇宙システム工学専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
7	3	10	0	6	1	7	0	
(6)	(1)	(7)	(0)	[Δ1]	[Δ2]	[Δ3]	[0]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 (記入例：1名減の場合：Δ1)

<工学研究科 物質工学専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
18	6	24	0	17	6	23	0	
(17)	(7)	(24)	(0)	[Δ1]	[0]	[Δ1]	[0]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 (記入例：1名減の場合：Δ1)

<工学研究科 創成機能工学専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
17	6	23	0	19	4	23	0	
(18)	(6)	(24)	(0)	[2]	[Δ2]	[0]	[0]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 (記入例：1名減の場合：Δ1)

5 その他全般的事項

<工学研究科 建築社会基盤系専攻（博士前期課程）>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表予定時期 (平成22年度報告分については未定)

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(未 定)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

<工学研究科 機械創造工学系専攻（博士前期課程）>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表予定時期 (平成22年度報告分については未定)

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(未 定)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

<工学研究科 応用理化学系専攻（博士前期課程）>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表予定時期 (平成22年度報告分については未定)

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(未 定)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

<工学研究科 情報電子工学系専攻（博士前期課程）>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表予定時期 (平成22年度報告分については未定)

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(未 定)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

<工学研究科 建設環境工学専攻（博士後期課程）>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表予定時期 (平成22年度報告分については未定)

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(未 定)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

<工学研究科 生産情報システム工学専攻（博士後期課程）>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有) ・ 無)

b 公表予定時期 (平成22年度報告分については未定)

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する) ・ 承諾しない)

d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(未 定)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

<工学研究科 航空宇宙システム工学専攻（博士後期課程）>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表予定時期 (平成22年度報告分については未定)

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(未 定)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

<工学研究科 物質工学専攻（博士後期課程）>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表予定時期 (平成22年度報告分については未定)

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(未 定)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

<工学研究科 創成機能工学専攻（博士後期課程）>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表予定時期 (平成22年度報告分については未定)

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(未 定)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。